

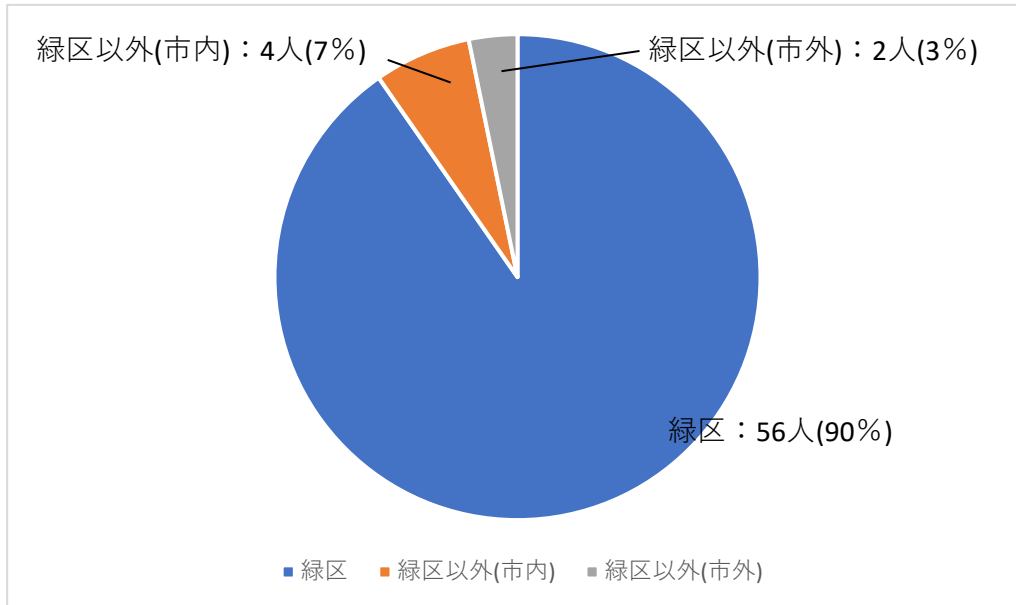
令和5年度 緑区多職種連携研修会 アンケート結果

日時： 令和6年 3月 16日 (土) 14:00~16:30

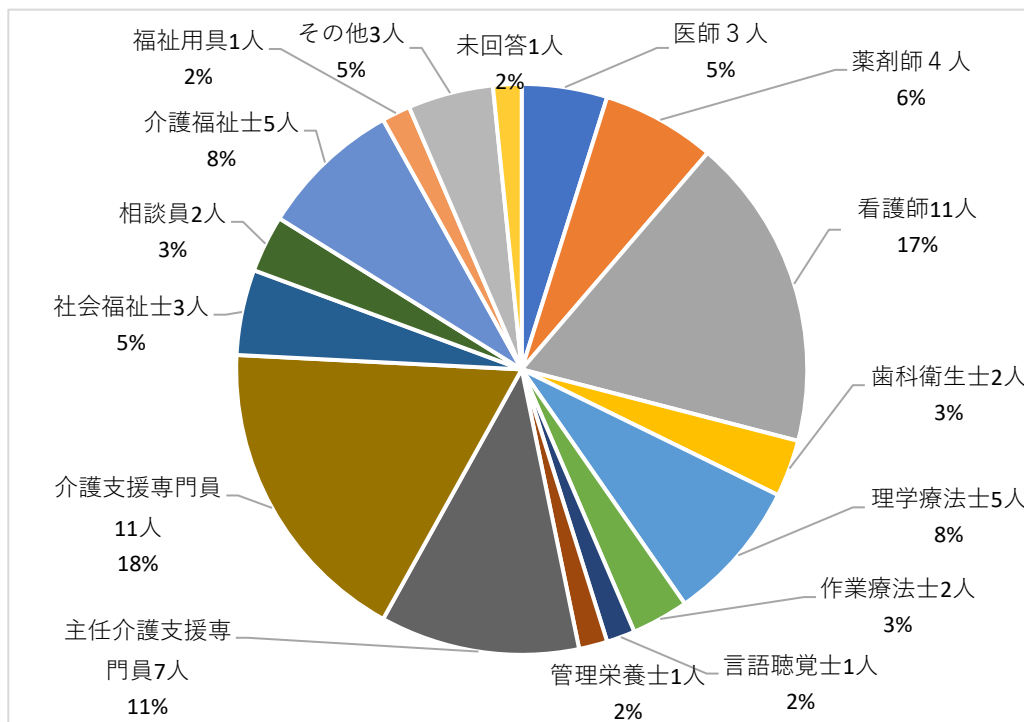
場所： 名古屋市徳重地区会館体育室

アンケート回収率： 93% (アンケート記入者62名/参加者67名)

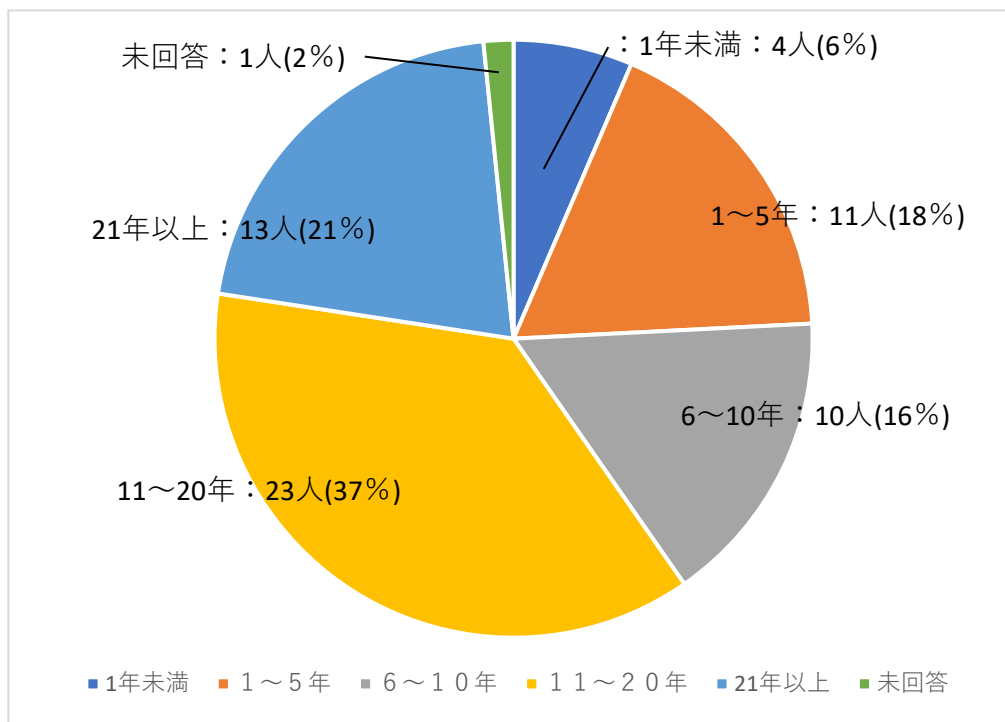
1. 職場所在地



2. 職種

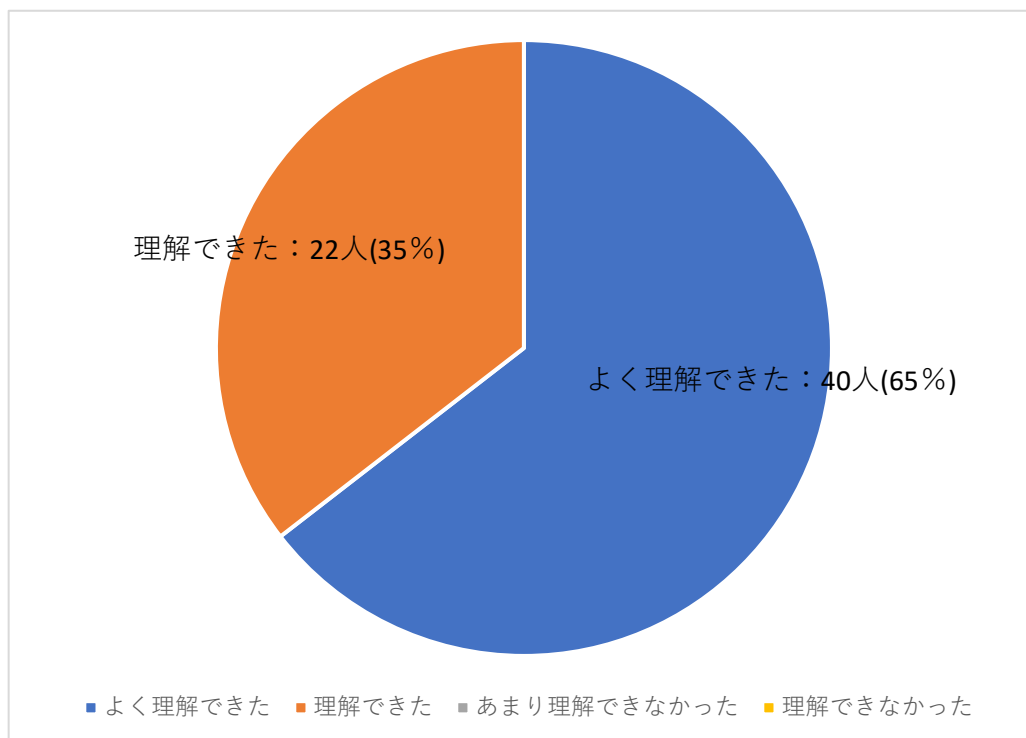


3. 経験年数を教えてください



3. 本日の研修会についてお答えください

① 講義内容は理解できましたか



②3つのグループワークを通じて、どのような気づきがありましたか(自由記載)

《ICFに関する内容》

- ・普段何気なくやっていることを整理するのにICFはとても使いやすと感じた
- ・整理することで解決策が見つかる。もっと勉強したい。
- ・ICFはそれぞれが相互作用で支えあっていることを実感できた
- ・ICFの利用を多職種で行うことで意義が深まることが分かった
- ・ICFをもとに考えることによってまとまりをもったものになることがわかりよかった
- ・ICFで人との視点の違い、職種によって見ているところの違いがわかった

《職種ごとの視点の違いの気づき》

- ・自分の視点では気付かないことに気付け、普段自分では立てない目標の支援を考えることができた
- ・他職種の視点を知り本人へのアプローチがより良いものになる
- ・歯科衛生士さんの意見が自分には全くない視点だったので興味深かった
- ・同じ事例でも職種によって視点が異なりとても勉強になった。ケアマネとしてサービス担当者会議の重要性を感じた
- ・多職種それぞれの視点で考えているため専門性の重要性を理解できた

《連携の必要性》

- ・どの場面でも多くの視点から考えていくことがとても大切だと思った。自分一人では気付けない点に気付くことができるので連携という機会をより多く作れたらと思う
- ・最初は方向性が見えていなくても全員で意見を出し話し合っているうちに何が必要なのか方向性が見えてきて一人では気づく事の出来ない事に気づく事が出来た
- ・「できない」と判断するのではなく多職種と連携を取りいろいろな視点で考えると「できない」が「できる」になる可能性があると感じた
- ・多職種の目で見ると不足している部分の気づきがありチームとして機能していくのだと改めて感じた

《職種の役割・相互理解》

- ・自分とは違う職種の方々で見る角度・アプローチのしかたが違っていると感じた
- ・全体で同じ情報をまとめても職種によって中心として取り組む部分が違っていると感じた
- ・専門職の視点からの意見が持てるようにしたい

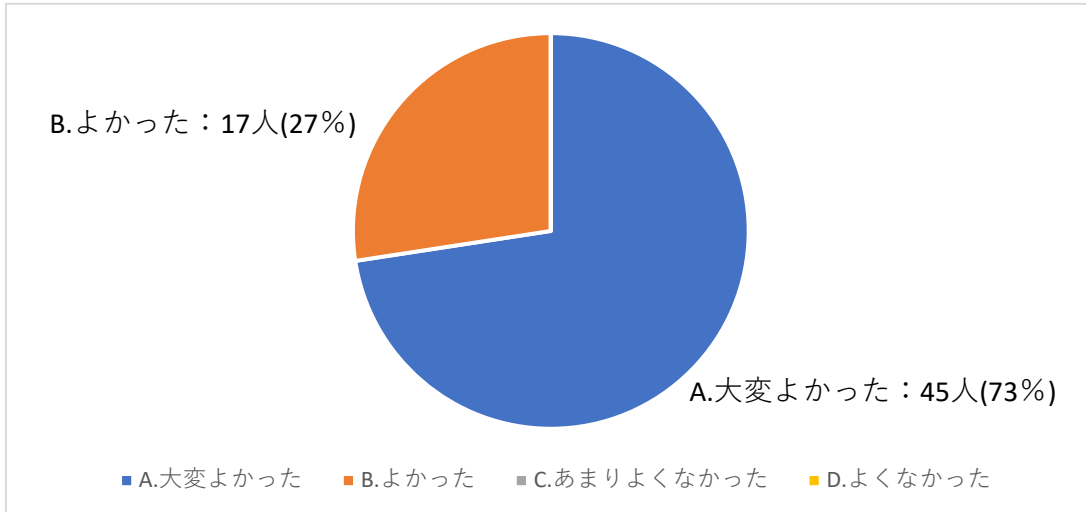
《情報共有の必要性》

- ・多職種で情報を共有することで発展的な視点が生まれ、本人への有効な支援へつながると実感した
- ・職種ごとに様々な気づきがあるのでそれをどのように共有し実践していくかが課題だと思った
- ・多職種で話し合うことでその人が包括的に知れて新たな視点に気づけた
- ・多職種で意見を出し合う事で広義的に問題点・支援策が湧いてきて普段見えない視点が開けた

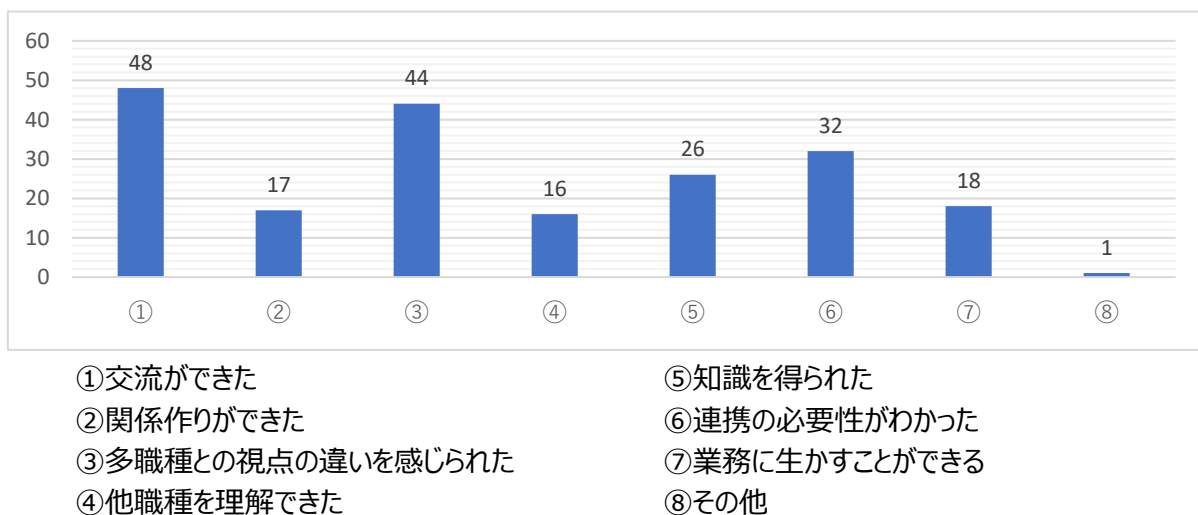
《その他》

- ・なかなか意見の聞けないDr.が同席してくれとてもためになった
- ・自分とは違う考え方を聞いたことが大きな収穫です。職種が違うからこそ内容が充実したのだと思う
- ・今後もこのようなグループワークがあれば参加したいです
- ・講義・グループワークの構成時間がちょうど良かったです。集中して取り組みました

③参加してよかったと思いますか



③でA,B回答の方：そう思われた理由は何ですか(複数回答可)



③でC,D回答の方、理由をご記入ください→C,D回答なし

④その他ご意見、ご感想、ご要望等がございましたらお聞かせください

- ・担当者会議の場でも、目で見えてわかるICFを取り入れたいと感じた
- ・日頃も分類し整理しながら考える習慣を付けて行きたいと思いました
- ・多職種連携の重要性について学ぶことができた。今後社内にも広げていきたいと思う
- ・色々な方と顔を合わせてグループワークができたことが楽しく学びになった
- ・今後も参加したいと思いました。ありがとうございました!!
- ・久しぶりの多職種連携研修会、楽しかったです